

報道関係者各位

平成 20 年 7 月 8 日

私たちは、「もっと E C O できるはず」 3,600 人の E C O チャレンジ

『ファンケル E C O プラン』開始のお知らせ

明日のため、未来のために、今日からファンケルは環境対策に取り組みます

株式会社ファンケル(本社:横浜市中区、代表取締役社長執行役員:成松義文、以下ファンケル)では、2008 年 7 月より、ファンケルグループ国内 12 社の全従業員約 3,600 人で取り組む、『ファンケル E C O プラン』を開始いたしましたのでお知らせいたします。

ファンケルではこれまでも、工場などの生産部門では、屋上緑化やラインの効率化など、積極的に環境対策に取り組んでまいりました。この取り組みをさらに、「オフィス」「家庭」「産業」「商品/サービス」の 4 つの分野に分け、それぞれの分野で、CO₂の排出削減に取り組んでまいります。

従業員が「家庭」でも積極的に E C O にチャレンジ、目標達成者には報奨金

2009 年 4 月から、改正地球温暖化対策推進法¹が施行され、CO₂の排出量の報告義務を負う企業の対象が広がるなど、企業にとってもより積極的な環境対策が求められています。

「ファンケル E C O プラン」は、事業所だけではなく、従業員それぞれの家庭においても環境対策への取り組みへチャレンジいたします。家庭で使用する電気とガスを節約することで、ファンケル従業員が排出する CO₂の削減を目指します。さらに、目標を達成した従業員には報奨金を進呈します(詳細は別添資料)。

初年度は、電気とガスの使用量削減を目指していただきますが、今後は自家用車(ガソリン)と水道の使用量削減へもチャレンジ領域を広げることを予定しています。

役員報酬に「環境指標」を導入、経営レベルで環境対策を徹底

「ファンケル E C O プラン」では、役員報酬に「環境指標」を導入いたします。取締役と執行役員の計 13 名が対象で、それぞれの役員が勤務するオフィスや事業所が、「ファンケル E C O プラン」で定めた CO₂排出削減目標を達成できない場合は、来年度の役員報酬を減額いたします。まずは、経営層で環境対策への意識付けを徹底させることで、全社レベルでの取り組みを推進させます。

「ファンケル E C O プラン」の詳細は次頁以降をご参照ください。

株式会社ファンケル

本社:神奈川県横浜市中区山下町 89-1

代表取締役社長執行役員:成松義文

設立:1981 年 8 月

連結売上高:993 億円(平成 20 年 3 月期)

本件に関するお問い合わせ
広報グループ 矢島明、大塚肇:045-226-1230

『ファンケル ECO プラン』の詳細

ファンケルでは、「オフィス」「家庭」「産業」「商品 / サービス」の4つの分野で環境対策を推進してまいります。詳細は以下の通りです。

プロジェクト名	『ファンケル ECO プラン』	
目的	「CO ₂ 削減」を中心とした「全ての環境」の取り組み	
実施時期	2008年6月1日より随時開始	
取り組む分野	オフィス	各部門で、CO ₂ の排出量前年比 15%を達成する 温度調整の徹底、全館蛍光灯間引き、空調時間短縮、ノー残業デーの徹底、クールビズ、ウォームビズ、エコカー導入、屋上緑化の推進など
	家庭	家庭で使用する「電気」と「ガス」の使用削減に挑戦する 政府統計の全国平均使用料金を基準に削減目標を決定。達成者には報奨金も。 算出方法詳細は別添資料をご参照ください。
	産業	各工場で、CO ₂ の排出量前年比 3%を達成する 石油・電気・ガス・灯油などあらゆる燃料の削減、原料調達の見直し、緑化の推進、工場内の空調など
	商品 / サービス	環境を「コミュニケーションツール」としてお客様との接点強化を図る 商品廃棄量や紙の使用量の削減、エコ情報の発信、環境配慮資材の活用など

実施スケジュール

取り組む分野	2008年度		2009年度		2010年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1 オフィス (関内/飯島/研究所)	6月1日から、本格スタート 					
2 家庭	「7月度」からスタート 					
3 工場	数値検証/管理体制構築 		2008年度下期～「削減施策」の実行 			
4 商品 / サービス	数値検証・企画立案 		2009年度～「削減施策」の実行 			

(参考資料)

「家庭」で取り組む ECO チャレンジ詳細

従業員の任意参加とします。(2008年7月7日現在、約2,000名)

「6月分」の電気およびガス料金と、政府発表の全国平均の使用料金の比率をもとに削減目標を算出します。チャレンジ期間は7月分～11月分の5ヶ月間です。比率が、1以下なら、5ヶ月平均10%以上削減。1より上回っているなら、20%以上の削減が目標です。達成したら、電気とガスそれぞれに対し、5,000円進呈。

また、削減率の高い、上位1、2、3位には、それぞれ、1位30,000円、2位:20,000円、3位:10,000円進呈します。

算出例

【A群】 10%削減 (単位:円) (単位:円)

目年月	科	電気代					ガス代				
		A 目標値	B *全国平均 (勤労世帯)	C 割合 A実績÷B平均	C' 目標 割合	D 削減額 B×(C'-C)	A 目標値	B *全国平均 (勤労世帯)	C 割合 A実績÷B平均	C' 目標 割合	D 削減額 B×(C'-C)
6月	基準月	6,542	8,730	0.75		3,447	4,005	0.86			
7月	チャレンジ期間	6,567	9,657		0.68	670	3,176	4,125		0.77	374
8月		5,760	8,471		0.68	588	3,848	4,998		0.77	453
9月		5,323	7,828		0.68	543	4,836	6,281		0.77	570
10月		6,045	8,890		0.68	617	5,741	7,456		0.77	676
11月		7,946	11,686		0.68	811	6,590	8,559		0.77	776
5ヶ月合計		31,642	46,532		0.68	3,228	24,193	31,419		0.77	2,849

(*出所)「政府統計」>家計調査>家計収支編>二人以上の世帯>詳細結果表>月次

【B群】 20%以上削減 (単位:円) (単位:円)

目年月	科	電気代					ガス代				
		A 目標値	B *全国平均 (勤労世帯)	C 割合 A実績÷B平均	C' 目標 割合	D 削減額 B×(C'-C)	A 目標値	B *全国平均 (勤労世帯)	C 割合 A実績÷B平均	C' 目標 割合	D 削減額 B×(C'-C)
6月	基準月	9,890	8,730	1.13		5,546	4,005	1.38			
7月	チャレンジ期間	8,691	9,657		0.90	2,249	4,538	4,125		1.10	1,175
8月		7,624	8,471		0.90	1,973	5,498	4,998		1.10	1,423
9月		7,045	7,828		0.90	1,823	6,909	6,281		1.10	1,789
10月		8,001	8,890		0.90	2,070	8,202	7,456		1.10	2,123
11月		10,517	11,686		0.90	2,721	9,415	8,559		1.10	2,437
5ヶ月合計		41,879	46,532		0.90	10,836	34,561	31,419		1.10	8,947

(*出所)「政府統計」>家計調査>家計収支編>二人以上の世帯>詳細結果表>月次

これまでのファンケルグループの環境への主な取り組み

取り組み	内容
箱裏への能書の印刷	製品の能書を容器の外箱の裏面に印刷することで、紙の使用量を削減。今後は、対応製品を順次増やしていく予定。
エコパック	グループ会社のアテニア化粧品では、化粧品容器としては画期的な詰替えボトルを採用。容器の削減につながっている。
置き場所指定配達	通信販売での宅配時に受取印なしで、お客様が指定した置き場所へ配達する制度。これにより、不在時での再配達をなくすことができ、輸送時のCO ₂ 排出削減に貢献。
グリーン電力	毎年夏に主催している「ファンケルクラシック」の開催時の使用電力を2006年度より、グリーン電力で代替。スポーツイベントとしては日本発の試み。また、2007年度からは、横浜市風力発電事業に協賛し、生産工場でもグリーン電力を使用。
エコポイント	直営店舗での購入時に、レジ袋を辞退されたお客様にファンケルポイントを5ポイント提供。

など

【用語解説】

1 「地球温暖化対策推進法」とは？

1997年に採択された京都議定書を受け、98年に成立した法律。国や自治体、企業、国民の温暖化ガス排出抑制に向けた役割などを明記しています。2005年に改正され、06年度から温暖化ガスを大量に排出する事業者などに、温暖化ガスの排出量を国に報告するよう義務付けました。

以上

本件に関するお問合せ先

(株)ファンケル 〒231-8528 横浜市中区山下町 89-1
広報グループ 担当: 矢島明、大塚肇

TEL: 045-226-1230

FAX: 045-226-1202